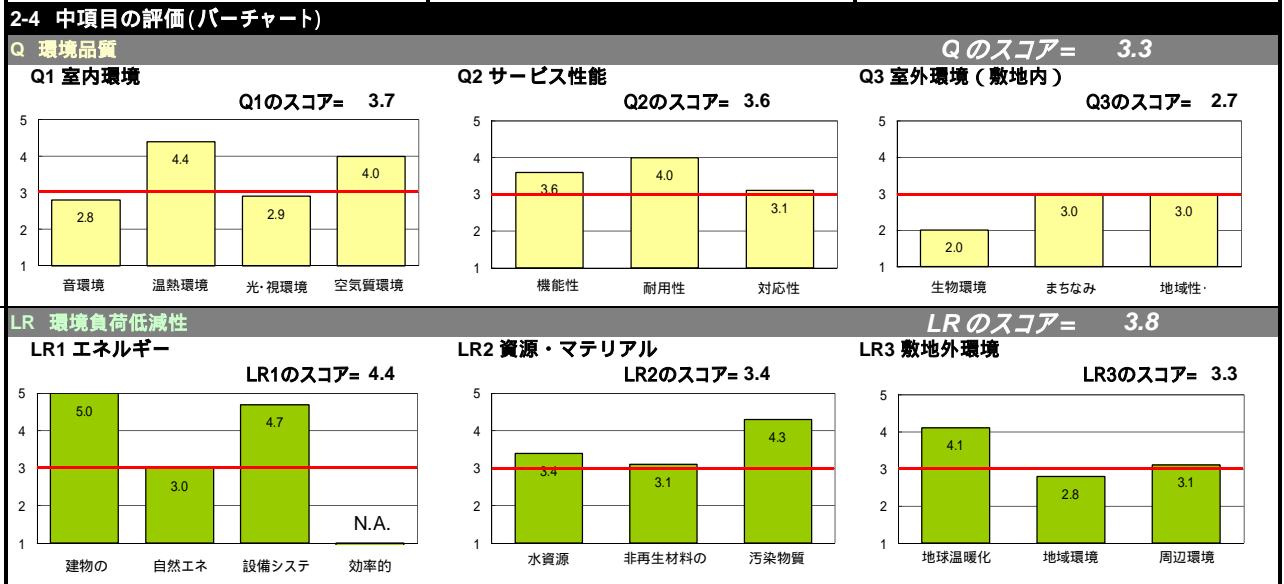
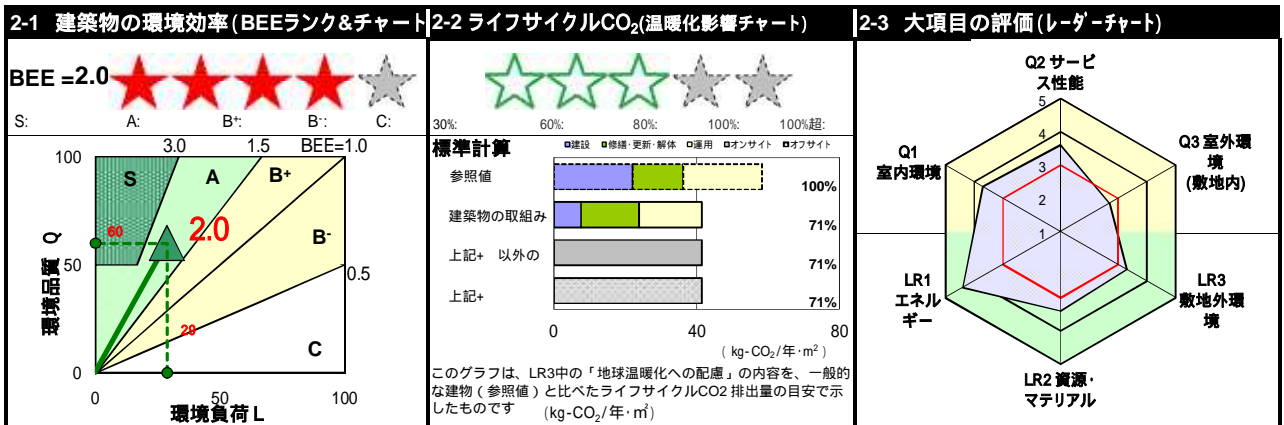


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	リーフィアレジデンス本厚木	階数	地上16F
建設地	神奈川県厚木市栄町二丁目1167番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	324人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年3月 予定	評価の実施日	2012年3月6日
敷地面積	1,575 m ²	作成者	東鉄工業株式会社
建築面積	623 m ²	確認日	2012年3月6日
延床面積	7,598 m ²	確認者	東鉄工業株式会社



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
伝統的なフォルムを継ながら新しさを付加したファサードを目指します。	特に無し。	
Q1 室内環境 4スター建材と24時間換気によるシックハウス対策	Q2 サービス性能 各住戸は100Mbitクラスのブロードバンドの利用、パライプリー新法にも対応。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地とその周辺にある立地特性を把握し、その特性に基づいて計画している。
LR1 エネルギー 日本住宅性能表示基準「5-1省エネ対策等級」における等級4に相当し、潜熱回収型給湯器を使用。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器の採用や躯体と仕上げ材が容易に分別できる。	LR3 敷地外環境 大気汚染防止法、小規模燃焼機器のNOx排出ガイドラインにより大幅に抑えられている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される